

kubell COMPASS

Ver 1.0.0



はじめに

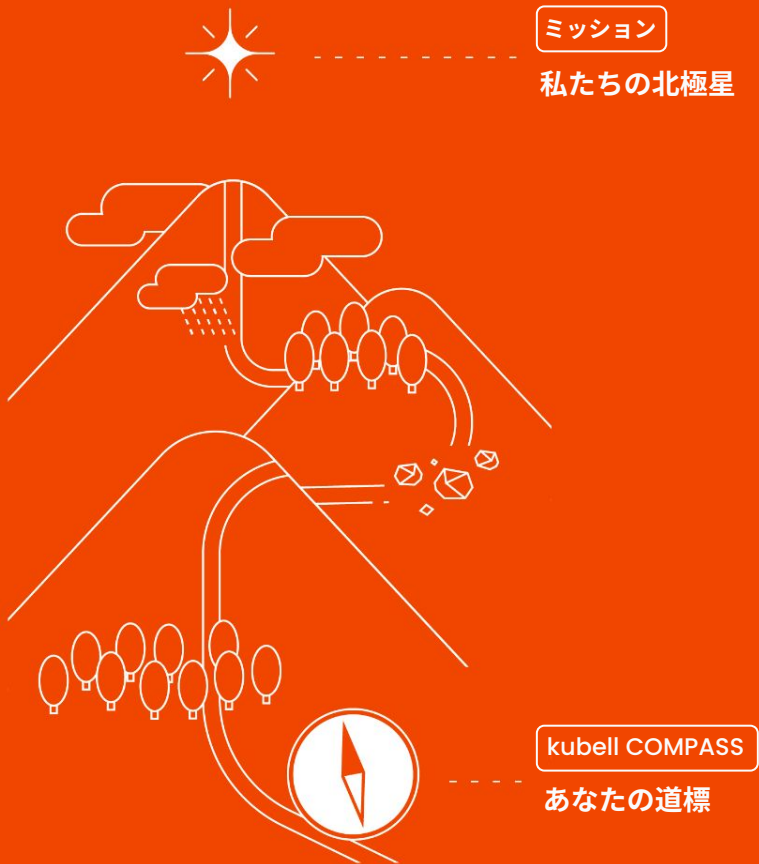


私たちは、20年以上の長い旅路を歩んできました。
社名は二度変わり、仲間との出会いと別れを重ね、
喜びと困難を何度も経験しながら、ここまで歩み続けてきました。

私たちを取り巻く世界や社会、私たち自身も、
絶え間ない時代の変化にさらされています。
当たり前だと思っていたことを問い直す日々の中で、
何を信じて進めばよいのか、迷うこともあるでしょう。

しかし、私たちの歩み方が変わっても、
新たな困難という山が目の前に立ちはだかつて、
私たちが最終的に目指すべきものは決して変わりません。

目指すべきは、私たちのミッション「働くをもっと楽しく、創造的に」
という輝く北極星です。この星に向かって、私たちは進み続けるのです。



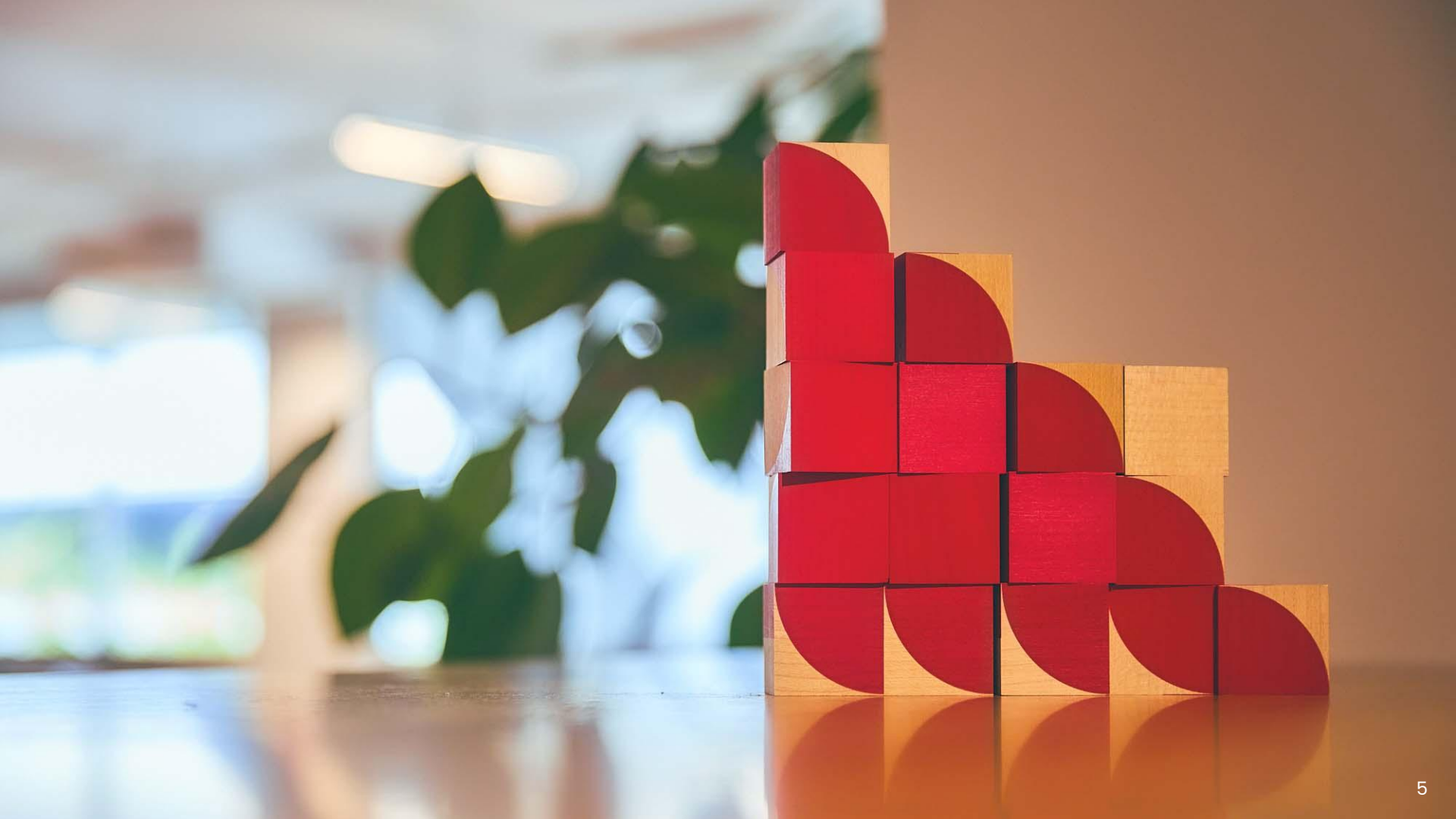
kubell COMPASSとは

あなたの道標

このkubell COMPASSは、常にミッションという北極星の方角を指し示しています。そして、私たち一人ひとりに日々迷うことがあったとしても、どのように行動すればよいかを示すため、バリューという道標について詳しく記されています。

さあ、このCOMPASSを手に、
新たに一步を踏み出しましょう。
私たちの旅は、まだ始まったばかりです。

01	 	BRAND & CULTURE	_____	6
02	 	MISSION / VISION	_____	9
03	 	VALUES	_____	17



01 | BRAND & CULTURE

TOP Message

働き方が変われば、世界は変わる

kubellグループのミッションは、「働くをもっと楽しく、創造的に」です。

私たちのミッションには、人生の大半を過ごす「働く」という時間を、生活の糧を得るためだけでなく、1人でも多くの方が、夢や志の実現にむけて、本当に取り組みたいことに時間を費やし、仕事を楽しみ、創造性を存分に発揮できる豊かな社会を実現したいという想いが込められています。

そのために、さらなる高みを目指し、法人設立から20年を機に社名変更。

BPaaSという新事業を会社の柱に掲げ、新しいフェーズへと移行していきました。

より難易度が高くなった事業戦略を、ヒト×テクノロジーの両輪で推進するためには、私たちらしい独自のカルチャーを育む必要があります。

kubellグループのカルチャーのコアは、このkubell COMPASSでも語られているミッション・ビジョン・バリューです。そのカルチャーのコアに基づき、行動指針やルールが作られていきます。

kubellグループが成長し続けるなかで、私たちのカルチャーもこのkubell COMPASSも進化し続けます。

そして、カルチャーを形づくっていくのは、kubellグループで働く皆さん一人ひとりです。私たち自身が日々楽しく創造的に働くために、ぜひkubell COMPASSをよりどころにしてみてください。

ミッション実現のため、これからも私たちらしく、誇れるカルチャーをつくっていきましょう。



代表取締役CEO
山本 正喜

HISTORY

これまで20年以上にわたり、ひとつのミッションに向かって、時代の「一歩先の働き方」をつくりつづけてきました。

MISSION

働くをもっと楽しく、
創造的に

2004年
創業

インターネット黎明期に
兄弟で学生起業



2012年

Chatworkに社名変更

ビジネスチャットのパイオニア
として市場を切り拓く



2024年

kubellに社名変更

本質的なDXを実現する
BPaaSを力強く推進



02 | MISSION / VISION

MISSION

働くをもっと 楽しく、創造的に

人生の大半を過ごすことになる
「働く」という時間において、
ただ生活の糧を得るためだけではなく、
1人でも多くの方がより楽しく、
自由な創造性を存分に発揮できる社会を実現する



VISION

すべての人に、 一歩先の働き方を

一部の先進的な人だけではなく、
世界中で働くあらゆる人が、
自分自身の働き方を常に「一歩先」へと
進めていけるプラットフォームを提供する



中期経営計画2024-2026 3つの主戦略

- ビジネスチャットを**コミュニケーションプラットフォーム戦略**により価値向上させ、そのプラットフォーム上で様々なビジネス展開を可能とする**BPaaS戦略**を推進
- グループのアセットを活かした新規事業や、AIを活用した研究開発などを行っていく**インキュベーション戦略**により、さらなるコア事業の創出や非連続成長を狙う

コミュニケーション プラットフォーム戦略

PLG

PLGを推進し、ユーザー数の極大化とアクティブ率を向上させることで、中小企業領域において**他に類を見ない高価値なプラットフォーム**の確立を目指す

BPaaS戦略

BPaaS

BPaaSを展開し、Techと人をハイブリッドした高い生産性のオペレーションを確立させ、経営における幅広い領域での**本質的なDX**を実現する

インキュベーション戦略

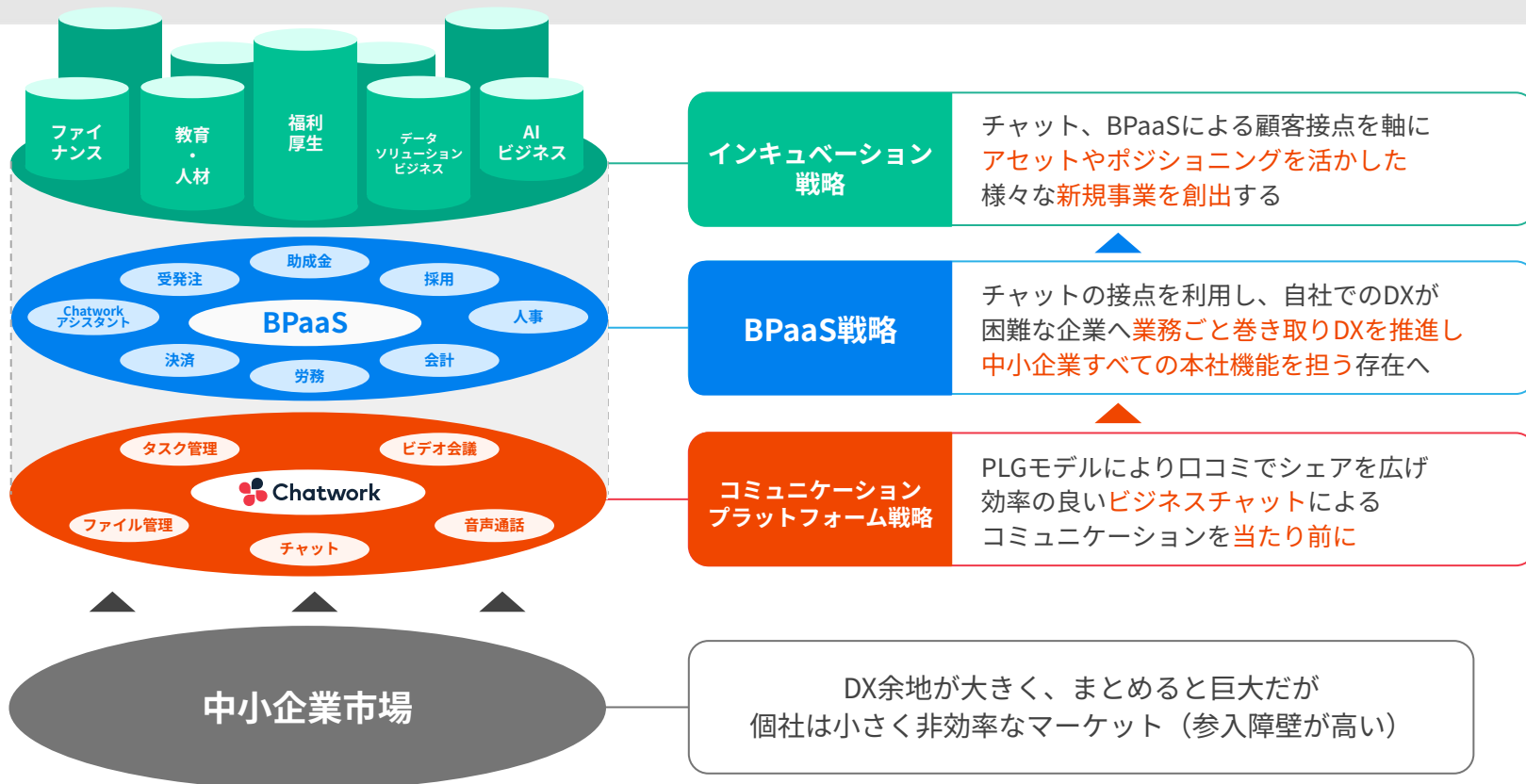
R&D

R&Dを進め、グループのアセットやポジショニングを活かし、ターゲットの拡張も意識した事業展開を推進することで、**非連続成長の柱**となる付加価値を創造する

※PLG (Product-Led Growth) とは、プロダクトを通して顧客獲得をおこなう、米国で注目されているSaaSの成長戦略。

※BPaaS (Business Process as a Service) とは、ソフトウェアの提供ではなく、業務プロセスそのものを提供するクラウドサービスであり、クラウド経由で業務アウトソーシング(BPO)をする。

中期経営計画2024-2026 戦略ストーリー



ミッション、ビジョンと戦略のリンク

MISSION

働くを
もっと楽しく、
創造的に



ビジネスチャットの接点を足がかりにBPaaS事業を展開し、
ノンコアビジネスを巻き取ることで、
働く人がやりたいことに集中できるように

飲食業であれば「おいしいものをつくる」、
製造業であれば「いいものをつくる」ことに注力できるようになり、
働くことそのものが楽しく創造的になって、社会を豊かに

VISION

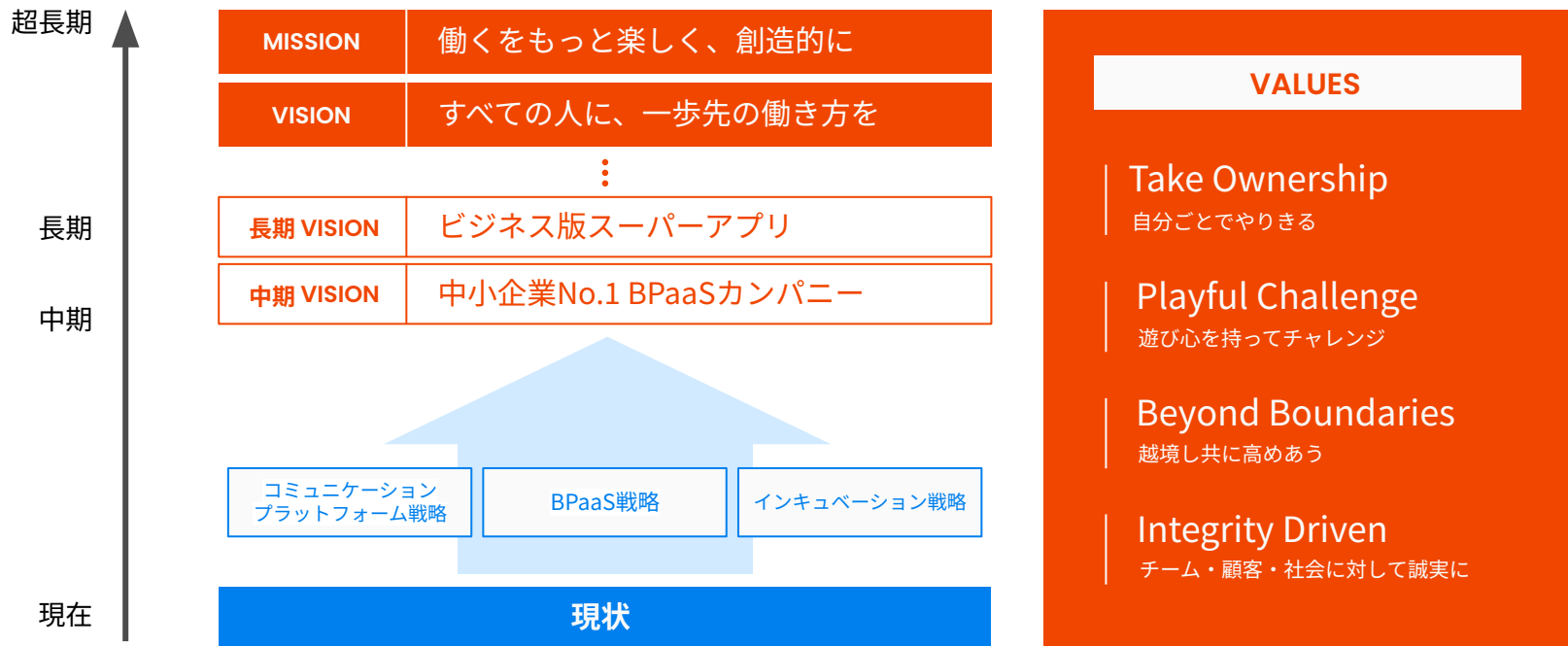
すべての人に、
一歩先の働き方を



労働人口の約70%を占め、DXが進まず歩みが止まってしまっ
ている中小企業に対し、BPaaSを展開することで
ITツールの習熟不要でDXを可能に

中小企業全体の本社機能を担うことで生産性を劇的に引き上げ、
少子高齢化に伴う社会福祉を支えるとともに、
社会全体が一歩先へと歩み続ける、明るい希望が持てる社会へ

kubellグループが目指すミッション・ビジョン・バリューと戦略の関係性



**Take
Ownership**

自分ごとでやりきる

**Playful
Challenge**

遊び心を持ってチャレンジ

**Making work
more fun
and creative**

楽しくもっと楽しく、創造的に

**Beyond
Boundaries**

垣根し共に高めあう

**Integrity
Driven**

チーム・顧客・社会に対して誠実に

03 | VALUES

4 VALUES

4つのバリューの概要

4つのバリューは、ミッションを実現するために必要な価値観を言語化し、kubellグループの行動指針・判断基準としています。

Take Ownership

自分ごとでやりきる



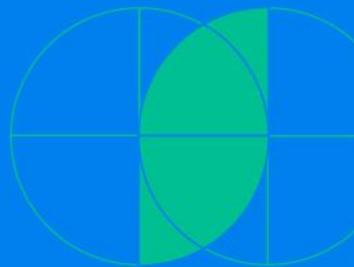
Playful Challenge

遊び心を持ってチャレンジ



Beyond Boundaries

越境し共に高めあう



Integrity Driven

チーム・顧客・社会
に対して誠実に



Take Ownership

自分ごとでやりきる

主体性

目的思考

完遂力

仕事の目的を背景含めて深く理解し、単なる作業ではなく意味を持った仕事として、自分自身の意思を持って主体的に取り組む。一度手をつけた仕事はしっかりと最後までやり抜き、自分自身の手が離れたとしてもその成果を見届けるところまでを自分の仕事だと意識する。

Playful Challenge

遊び心を持ってチャレンジ

冒険心

創造性

スピード

私たちは困難な社会課題に取り組むベンチャー企業。たとえ前人未踏の領域であったとしても、新しい発想をもって果敢に挑戦し、期待や想像を超えてワクワクするような驚きを創り出す。未来を待つことなく、スピードこそ価値だととらえ、自ら一步先をつくりだしていく。

Beyond Boundaries

越境し共に高めあう

マルチアングル

巻き込み力

相互発展

自分の役割を部門や役職の壁を越えて他者視点で見つめ直し、全体最適の目線で行動する。周囲を巻き込みコラボレーションしていくことで、1+1を3にも4にも変えていく。相手の成長を願って声をかけあうことで、全員で勝つチームへ。

Integrity Driven

チーム・顧客・社会に対して誠実に

相互信頼

相互尊重

社会的責任

働く仲間となるチームを信頼し、多様な違いを受け入れ強みへと変えていく。
顧客へのリスペクトを忘れず、伴走するパートナーとして共に成長する。
働き方を変えていくことが私たちの使命。未来に誇れる仕事を成し遂げて、
これからの社会を豊かにしていこう。



Take Ownership

自分ごとでやりきる

主体性

日常行動

手を挙げる

言われてからやる、指示されてからやるのではなく、自ら手を挙げ、機会をとりに行く。

目的思考

日常行動

仕事を意味付ける

その仕事は、会社にとって、組織にとって、自分自身にとって、どういう意味を持つのかを考える。

完遂力

日常行動

成果を見届ける

自分の手を離れたとしても、その仕事は終わっていない。仕事の目的が達成されたのかまでを見届ける。

×

×

Playful Challenge

遊び心を持ってチャレンジ

冒険心

日常行動

未知を既知に

失敗を恐れず、果敢に挑戦する。
未知を既知にしていくことで新たな
道が開けていく。

創造性

日常行動

WOW!をつくる

「それすごいね!」と言われる仕事
を。自分ならではの新たな発想を、
仕事に持ち込んでいく。

スピード

日常行動

まずやってみる

悩むよりも先に行動する。
まずやってみるからこそ、できるこ
とが増えていく。

×

×

Beyond Boundaries

越境し共に高めあう

マルチアングル

日常行動

他者視点で
考える

マネージャー、他の部門、顧客など、他者の視点にたって自分の仕事を見つめ直し、行動する。

巻き込み力

日常行動

共通のゴールを
つくる

壁を越え、お互いのミッション実現につながる共通のゴールをつくりだし、共に達成する。

相互発展

日常行動

フィードバックから
学びあう

お互いに気付いたことがあれば、相手の成長を願ってフィードバックし、感謝の気持ちで受け止める。

×

×

Integrity Driven

チーム・顧客・社会に対して誠実に

相互信頼

日常行動

小さな約束を守る

小さくて些細な約束であっても、自分がやるといったことを守ることが、大きな信頼へとつながっていく。

相互尊重

日常行動

まず肯定的に
受け止める

誰もが自分にはない視点を持っていることを認め、違和感があることでもまず肯定的に受け止める。

社会的責任

日常行動

チームとして正しい
ことを選ぶ

個人としての正しさを押しつけるのではなく、チームとしての正しさを常に考え、倫理観を持って選択する。

4 VALUES OVERVIEW



VALUE	ストーリー	構成要素	日常行動
Take Ownership 自分ごとでやりきる	仕事の目的を背景含めて深く理解し、単なる作業ではなく意味を持った仕事として、自身自身の意思を持って主体的に取り組む。一度手をつけた仕事はしっかりと最後までやり抜き、手が離れたとしてもその成果を見届けるところまでを自分の仕事だと意識する。	<ul style="list-style-type: none">主体性目的思考完遂力	<ul style="list-style-type: none">手を挙げる仕事を意味づける成果を見届ける <p>言われてからやる、指示されてからやるのではなく、自ら手を挙げ、機会をとりに行く。</p> <p>その仕事は、会社にとって、組織にとって、自分自身にとって、どういう意味を持つのかを考える。</p> <p>自分の手を離れたとしても、その仕事は終わっていない。仕事の目的が達成されたのかまでを見届ける。</p>
Playful Challenge 遊び心を持ってチャレンジ	私たちは困難な社会課題に取り組むベンチャー企業。たとえ前人未踏の領域であったとしても、新しい発想をもって果敢に挑戦し、期待や想像を超えてワクワクするような驚きを創り出す。未来を待つことなく、スピードこそ価値だととらえ、自ら一歩先をつくりだしていく。	<ul style="list-style-type: none">冒険心創造性スピード	<ul style="list-style-type: none">未知を既知にWOW!をつくるまずやってみる <p>失敗を恐れず、果敢に挑戦する。未知を既知にしていこうとすることで新たな道が開けていく。</p> <p>「それすごいね!」と言われる仕事を。自分ならではの新しい発想を、仕事に持ち込んでいく。</p> <p>悩むよりも先に行動する。まずやってみるからこそ、できることが増えていく。</p>
Beyond Boundaries 越境し共に高めあう	自分の役割を部門や役職の壁を越えて他者視点で見つめ直し、全体最適の目線で行動する。周囲を巻き込みコラボレーションしていくことで、1+1を3にも4にも変えていく。相手の成長を願って声をかけあうことで、全員で勝つチームへ。	<ul style="list-style-type: none">マルチアングル巻き込み力相互発展	<ul style="list-style-type: none">他者視点で考える共通のゴールをつくるフィードバックから学びあう <p>マネージャー、他の部門、顧客など、他者の視点にたって自分の仕事を見つめ直し、行動する。</p> <p>壁を越え、お互いのミッション実現につながる共通のゴールをつくりだし、共に達成する。</p> <p>お互いに気付いたことがあれば、相手の成長を願ってフィードバックし、感謝の気持ちで受け止める。</p>
Integrity Driven チーム・顧客・社会に対して誠実に	働く仲間となるチームを信頼し、多様な違いを受け入れ強みへと変えていく。顧客へのリスペクトを忘れず、伴走するパートナーとして共に成長する。働き方を変えていくことが私たちの使命。未来に誇れる仕事を成し遂げて、これからの社会を豊かにしていこう。	<ul style="list-style-type: none">相互信頼相互尊重社会的責任	<ul style="list-style-type: none">小さな約束を守るまず肯定的に受け止めるチームとして正しいことを選ぶ <p>小さくて些細な約束であっても、自分がやるという約束を守ることが、大きな信頼へとつながっていく。</p> <p>誰も自分がいない視点を持っていることを認め、違和感があることでもまず肯定的に受け止める。</p> <p>個人としての正しさを押しつけるのではなく、チームとしての正しさを常に考え、倫理観を持って選択する。</p>





おわりに

「働くをもっと楽しく、創造的に」という
わたしたちの北極星には、すぐに到達できません。

だからこそ、これからも起こる時代の変化を捉え、
市場の変化とともに、つねに新しい山の登り方に挑戦する必要があります。

つまりkubell COMPASSも、常に最新にアップデートし、
いつもミッションの方角を指し示すように調整しつづけることが大切です。

まずは使いこなし、ここからさらに良いものにしていきましょう。
ひとりひとりの毎日の手のひらに、kubell COMPASSを。

働くをもっと楽しく、創造的に

